○補助金及び交付金一覧

No.	名　　称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費（円単位）	補助金額（円単位）	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)						
											補助額・率は適正である	団体運営費補助ではない	重複・類似の補助事業ではない	補助金としての支出が適切ではない	補助交付先の選定方法は適切である	補助交付先の財政状況を把握している	再補助は実施していない。
【2款　総務費】																	
1	集会所・広場整備事業費補助金	地域振興課	地域の均衡な発展と住民の生活福祉の向上を図るため、地域が行う集会所の改修や耐震診断、広場整備に対し補助する。（地域コミュニティの維持・形成（自治会数58区））	行政区	7,904,272	3,948,000	集会所整備事業 新築 対象経費6/10 維持、改修 対象経費1/2 耐震診断 対象経費2/3 広場整備 対象経費1/2	要綱に事業区分ごとの対象経費、補助率等を規定	集会所整備事業 維持、改修 7,000,000 耐震診断 木造50,000 その他300,000 広場整備事業 1,000,000	令和7年度実績 ○集会所整備事業 ・八倉区 テレビ購入及びテレビアンテナ設置工事 ・川中区 集会所外壁塗装及びシール工事 ・上原町区 集会所屋根改修工事 ・玉谷区 集会所屋根及び樋改修工事 ・北川毛区 集会所カーテン購入 ・総津３区 集会所カーテン購入 ・永立寺区 有線放送設備修繕（アンプ・マイク） ・大平区 集会所トイレの洋式化、シロアリ駆除及び廊下修繕 ・宮内区 有線放送設備配線張替工事 ○広場整備事業 ・山並区 集会所前広場看板及び防犯カメラ設置 老朽化した設備等を更新することにより施設の長寿命化が図られ、住民が安心して利用できるようになった。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	D 該当しない	A 適合している
2	移住者住宅改修支援事業費補助金	地域振興課	空き家の有効活用を図り、県外からの町内へ移住及び定住を促進するため、住宅改修費用の一部を補助する。（１件交付）	移住者	7,198,070	4,000,000	2/3	要綱に対象経費、補助率を規定。 県補助金1/3充当するため、 実質は県1/3、町1/3、移住者1/3	4,000,000	令和７年度実績 １件利用 広島県からの移住者が実施した住宅改修工事対し補助金を交付した。移住者5人が砥部町への定住につながった。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	D 該当しない	A 適合している
3	移住体験支援事業費補助金	地域振興課	移住希望者が本町を訪れる機会を創出する施策として実施する体験ツアーにおいて、町内宿泊施設での宿泊費を補助する。（2人10組）	移住希望者	0	0	1/2	要綱に基づき町内で宿泊した宿泊費用の1/2を補助	5,000	令和７年度実績 移住体験ツアーは２組利用があったが町内での宿泊しなかったため補助金の利用はなし。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	D 該当しない	A 適合している
4	自治活動推進交付金	地域振興課	区の自治活動を支援するため、良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とした活動に対し助成する。（地域コミュニティの維持・形成（自治会数58区））	行政区	4,318,610	4,318,610	10/10	均等割り　30,000円 人口に応じて段階的に算定 算定基準：自治活動推進交付金交付要綱に規定	予算の範囲内	令和７年度実績 全区に交付 各区の自治活動や地域づくり活動に交付金が活用され地域コミュニティの維持が図られた。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	D 該当しない	A 適合している

○補助金及び交付金一覧

No.	名　　称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費（円単位）	補助金額（円単位）	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)						
											補助額・率は適正である	団体運営費補助ではない	重複・類似の補助事業ではない	補助金としての支出が適切ではない	補助交付先の選定方法は適切である	補助交付先の財政状況を把握している	再補助は実施していない。
【２款　総務費】																	
5	LED防犯灯設置事業費補助金	地域振興課	各行政区の防犯灯整備要望に対し、犯罪のない安全・安心なまちづくりと経費節減や地球温暖化対策を推進するため、補助金を交付する。（設置数10基）	行政区	3,452,680	1,613,000	1/2	要綱に上限額補助率を規定	新設 占用柱の新設の場合50,000円 既存の電柱の場合20,000円 取替 従来の防犯灯からLED防犯灯20,000円 修理 LED防犯灯の修理15,000円	令和７年度実績 戎区　　新設７灯 中通区　新設10灯 客区　　新設13灯 上ノ山区　新設15灯 射場区　新設３灯 千足区　新設１灯 五本松区　新設１灯 高尾田区　新設６灯 拾町区　新設３灯 幸田区　新設１灯 宮内区　新設１灯・修理１灯 満穂区　取替２灯 麻生区　取替26灯 永立寺区　修理２灯 北川毛区　修理１灯 山並区　修理２灯 岩谷区　修理１灯 上原町区　修理１灯 南ヶ丘北区修理１灯 　LED防犯灯の新設や取替により、地域の防犯体制の強化が図られるとともに、施設の長寿命化や管理経費の節減が図られた。また修繕も対象とすることで更なる施設の長寿命化を図れた。なお、大南商店会の街路灯撤去に伴い新設設置が増加した。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	D 該当しない	A 適合している
6	松山南高砥部分校教育振興団体交付金	地域振興課	松山南高等学校砥部分校の魅力化を推進し、当校の存続及び振興・発展に資する団体に交付金を交付する。 ・魅力推進事業 ・全国募集事業（地域みらい留学への参画費用）	砥部分校教育振興団体	3,505,074	3,505,074	10/10	要綱に規定する対象事業で予算の範囲内	予算の範囲内	令和７年度実績 砥部分校振興対策協議会に交付金を交付 ○魅力化推進事業 　砥部分校のゲームデザインⅠ科目の授業を支援した実績により株式会社オートクチュールに対しゲームデザイン授業支援交付金を交付 ○全国募集事業 　全国から生徒を募集するため、地域みらい留学事業に参画し、東京及び大阪で開催された合同学校説明会に参加した砥部分校生徒２名の旅費を負担した。 事業の成果 　合同学校説明会でブースを構え砥部分校及び教育寮トベリエの魅力をアピールすることにより、令和８年度の砥部分校の入学志願者数は定員を超える86人でした。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
7	通学用自転車購入費補助金	地域振興課	町内に居住する生徒の通学に係る保護者の経済的負担を軽減し、安全な通学環境の確保及び交通安全意識の向上に資するために通学用自転車購入費補助金を交付する。（高等学校入学予定者112件・中学校入学予定者93件）	保護者	10,548,188	3,231,000	1/2	要綱に上限額補助率を規定	予算の範囲内 上限30,000円	令和７年度実績 高校入学予定者49件、中学校入学予定者62件に補助金を交付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	D 該当しない	A 適合している